

## 人はどこまで無実か？・・・・・・・・・悪事が露見するまで

故山本夏彦氏の箴言である。最も好きなコラムニストのひとりである。人はどこまで無実か？というのは、山崎豊子さんが、2回目の盗作騒ぎのときに書かれたものである。山崎さんは、2人の弟子にそれぞれ文章を書かせ、うちいいものを採択し、それを自らが清書していたという。弟子の2人にしてみれば、そうそう新しい独創的な表現がでてくるわけでもない。・・・で、結局は盗作ということになったわけで、しかも2回目だから騒ぎになった。

「人は・・・」をある酒の席で、10歳くらい上の方に披露したところ、珍しくワッハッハと喜ばれて、これに書いてくれと箸袋に書いたことがある。夏彦のファンは、いろんな人がいたのだが、自称インテリ女性も多かった。・・・こいつら自分のことをいわれているのに、「ワタシはちがうのよ」と思っていたらしい。それが可笑しかった。自ら、バカを証明している。

最近の話でいえば、新型コロナが猖獗しているから、5人以上での会席を自粛しよう、と都や府の職員らが歓迎会や送別会をする。単純に言えば、自分で規制しておいて、自分たちでその規制を無視している。・・・このとき、誰もコロナに罹らなければバレなかったのに、3割くらいが感染してバレた。・・・こういうのが日本中のあちこちで露見するから笑われる。

もっとバカは、公務員がしているのだから、自分たちもしなければ損だとばかりに、繁華街に出没してコロナに感染する。次元の異なる話だということを理解できない。こんな程度の連中のために、本当に治療を要する働き盛りの一家の大黒柱を失う人が気の毒でならない。医療スタッフも寝ずの番をしなければならない。また、のちにも書くが、人生でなすべきことを成し遂げた人よりも、現時点で一家を背負い、これから・・・、という人が入院できない、というのもどうも本末転倒のような気がする。

すでにどこかで書いたが、厚生省がらみでアンケートがきた。「医療ミスはありましたか？」・・・・・・・・ある係長が、部下の女性が「はい」に○をつけているのに、わざわざ「×」をつけた。この女性、というより女傑だが、「あんた、それ局長に見せてや。」・・・・・・・・事務局長が、「なんで「×」やねん？ ハイ、「表沙汰になったものがゼロで、だから×です。」局長が血相変えて、「アホッ！」・・・・

まあ、係長の気持ちもわからないではないが、それはあかんやろ。

この程度の話で、我々クラスでは、笑い話ですむが、国会議員レベルになると、新聞や TV はよろこんで、何か月も話題にし、些細なことに言いがかり・因縁をつけようとしている野党の脳みその足りない連中の餌食になるように仕向けて、憲法改正や国家の大事・危機に至るといふほどの天下国家の話が消えてしまう。

とりあえず、はっきりしているのが賄賂。・・・天知る、地知る、人知る、吾知る。

元法務大臣が、自分の夫人の選挙に莫大な賄賂を配って歩いた。そして国会議員になった。・・・ここで大切なことは普段から人格高潔、弱者の味方、包容力に富み、と逆の、立場上自分より目下に当たる人を蔑ろにするような人柄であったり、偉そうにしていると、賄賂をもらっただろうと官憲に追究されたりすると周囲の人間は積極的に官憲に協力し、ときには自ら名乗り出る人もでてきて当然。・・・「いやしくも国会議員を選別するのに賄賂を使うとは何事だ」と、正義感から告発する人はごく僅かか皆無か、バレるまで沈黙していた人がはるかに多いだろう。

国会議員になってからも、秘書の給料を召し上げてポケットに入れたか、他の場所で使ったか？ 仮に重要な案件に使用したなら、これほど薄汚い話もない。自腹をきれいだいのである。だから野党は、万年野党で政権をとることは 2010 年前後のどさくさに紛れての 3 年間以外には、今後 100 年経ってもありえないだろう。・・・それにしても、野党の女性議員というのは、なぜブスばかりなの？ ”Me too”とか言われても、「銭もろても、触れへんわなあ」オレなら、どうせ捕まるのならもっとまともな子にさわります！

一方の与党である自民党では、カジノを作るに際し、中国共産党から賄賂をもらっていたのがある。名前も知らないその他大勢のなかながら、わずか 100 万円単位で他国のために奔走する。これも露見しないと思っているのだろうか？ 「まかしとけ！」と威勢だけよくてもいつまで経っても変化がない。そういうのを「ちよろまかす」という。額が小さいだけに、そのみっともなさが情けない。・・・他の国から、桁違いの賄賂をもらって知らぬ顔をしている学術委員会のメンバーのような国会議員が続々とでてきたら、日本は崩壊してしまう。

つい最近、偉そうに国民をまえにして医師会長がワクチンの供給量と実施についてごちゃごちゃ（たとえば、誰が注射をするねん、医師会は協力せえへんど、などなど）言うとしたが、不要不急の外出をやめろ、と言っていた。このコロナがピーク、あるいはピークを目前に自民党のなにやらいうのんの政治資金集めの発起人になっていたことがバレた。不要ではないかもしれないが、今すぐにしなければならぬ問題ではなく、つまりは不急でしょうが。こいつは、国民の健康について大上段に振りかぶっていたが、なんのことはない。単なる権力と金目当ての俗物だったという話。……こいつもバレへんと思っていたのだから。天網恢恢、疎にして漏らさず。結局はバレるねんから。バレたときの台詞:新聞記者は入れないいうとったやないか、と議員に対して切れて。こういうのを「恥の上塗り」というのです。

悪事といえば、朝日新聞。この会社、新聞屋を名乗っているが、実は取材をせずに事実無根の話を作る。ふつう、「捏造」と呼ぶ。……また恐ろしいことにこれを信用するのがでてくる。従軍慰安婦、パプアニューギニアで日本兵がひどいことをした、とその場所まで行かず、確かめもせず書き散らす。生き残った戦友たちが涙を流さんばかりに怒る。いわれのない罪を着せられた戦友たちは、遺骨の収集もできずに野ざらしになっている。……珊瑚に傷つけて、あたかも自分がみつけて、偉そうに日本人に対し、教訓を垂れる。実際には、自分で傷つけて知らぬ顔をする。……福島原発事故でも、地震では大丈夫だったのが、津波のために全電源喪失が消失、このため炉心融解が発生しいわゆる **China syndrome** になったのだが、この電源を分散しておけばよかったのに **GE 社**（ゼネラル・エレクトリック。エジソンの作った会社）の間抜けどもが、考えなしに低い土地につくったものである。この **GE 社** 製というのも、朝日新聞は、長い間指摘せず、一見国産のような表現を使っていた。米国は、原発にジャンボジェットをぶち当てて、まったく安全であることを、9.11 の後にたしかめている。ただ、電源が失われた場合は、炉心融解が発生する。この事実は地震の前にはわかっていた。すなわち、電源分散については、地震の数年前にはわかっていたのに、なんの手立ても考えなかった。東京電力の悔しがること！小泉純一郎などは知っていたはずである。……この福島原発の事故には、世界中が注目していた。ロシアのチェルノブイリでは、ロシア人技師たちはさっさと逃げ出した。日本人なら最後まで残るだろう。（戦争中の潜水艦事故のときの佐久間艦長や乗組員は持ち場を離れなかったという態度から。外国なら、兵士は出口に殺到して混乱している。）そういう意味で日本の底力に注目していたのである。そこで、**Fukushima Fifty** として世界中から称賛

されていたのを、実際には逃げていた、などと嘘をつく。朝日の場合は、「悪事千里を走る」。で、すぐに反論がでて、捏造記事は瓦解する。ちょっと小耳にはさんだことを、さも大仰にとりあげる。そして、悪事が露見して社長のクビが飛ぶ。そんなことより会社を潰せ！

あと、朝日の捏造は山ほどあるが、大きなところはすべて露見し、社長のクビが飛んだ。会社の立て直しのために社長になったはずが、捏造のたびにクビがとぶ。懲りない連中や。

最近では、NHKまでもが軍艦島の炭鉱の話で捏造する。朝日の真似をすると恥をかく、という視点が消えている。台湾人を差別してきた、についても同じ轍を踏んでいる。NHKの諸君、お前たちは、それほどのバカであるという事実をもう一度確かめてみよ。夜9時からのニュースで、ほぼ毎回と言っていいほど訂正やらおわびやら。それをあつめるだけで、1冊の本が書けるくらいや。・・・誰が受信料なんか払うか！・・・(NHKについては、別にかきます。)

2021.05.18.